

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公表番号】特表2016-529953(P2016-529953A)

【公表日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-522926(P2016-522926)

【国際特許分類】

A 6 1 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

A 6 1 B 8/13 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 5/10 P

A 6 1 B 10/00 E

A 6 1 B 8/13

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月7日(2017.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織の1つ以上の画像を収集するために、放射線療法を受けている前記組織を探すべく  
関心領域をスキャンする撮像デバイスと、

前記組織の前記1つ以上の画像を受信し、前記組織の火傷状態を決定し、前記火傷状態  
に応じて、放射線治療計画の調整を提供する解釈モジュールと、

を含む、放射線療法のためのシステム。

【請求項2】

前記撮像デバイスは、放射線ビームとの干渉を回避するように動く可搬式イメージャを  
含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記可搬式イメージャは、ロボットに取り付けられ、前記ロボットは、前記放射線ビーム  
との干渉を回避するように制御される、請求項2に記載のシステム。

【請求項4】

前記撮像デバイスは、拡散光スペクトロスコピー(DOS)、拡散光イメージング(DOI)、  
光音響コンピュータトモグラフィ(PAT)、光音響マイクロスコピー(PAM)、  
レーザドップラ血流イメージング(LDPI)、偏光感受型光コヒーレンストモグラ  
フィ(PSOCT)及び高周波数超音波等のうちの1つ以上を含む、請求項1に記載のシ  
ステム。

【請求項5】

前記火傷状態は、ヘモグロビン、水分及び脂質のうちの1つ以上の吸収スペクトラルに基  
づいて決定される、請求項1に記載のシステム。

【請求項6】

前記放射線療法を計画し、前記放射線治療計画に、皮膚火傷を最小限にするために用い  
られる皮膚火傷パラメータを含める計画及び実施モジュールを更に含む、請求項1に記載  
のシステム。

**【請求項 7】**

前記計画及び実施モジュールは、前記火傷状態に応じて、前記放射線治療計画を調整する、請求項 6 に記載のシステム。

**【請求項 8】**

受けた前記放射線療法に合わせてカスタマイズされる皮膚火傷治療を報告する報告システムを更に含む、請求項 1 に記載のシステム。

**【請求項 9】**

前記撮像デバイスは、可搬式撮像デバイスであり、前記システムは、ロボット制御されるアームを更に含み、前記可搬式撮像デバイスが前記アーム上に取り付けられ、前記アームは、前記放射線療法の放射線ビームとの干渉を回避するように制御される、請求項 1 に記載のシステム。

**【請求項 10】**

前記撮像デバイスは、拡散光スペクトロスコピー (DOS)、拡散光イメージング (DOI)、光音響コンピュータトモグラフィ (PAT)、光音響マイクロスコピー (PAM)、レーザドップラ血流イメージング (LDPI)、偏光感受型光コヒーレンストモグラフィ (PSOCT) 及び高周波数超音波等のうちの 1 つ以上を含む、請求項 9 に記載のシステム。

**【請求項 11】**

前記火傷状態は、ヘモグロビン、水分及び脂質のうちの 1 つ以上の吸収スペクトラルに基づいて決定される、請求項 9 に記載のシステム。

**【請求項 12】**

放射線療法を計画し、前記放射線治療計画に、皮膚火傷を最小限にするために用いられる皮膚火傷パラメータを含める計画及び実施モジュールを更に含む、請求項 9 に記載のシステム。

**【請求項 13】**

前記計画及び実施モジュールは、前記火傷状態に応じて、前記放射線治療計画を調整する、請求項 12 に記載のシステム。

**【請求項 14】**

受けた前記放射線療法に合わせてカスタマイズされる皮膚火傷治療を報告する報告システムを更に含む、請求項 9 に記載のシステム。